

# 「流域治水」の本格的な実践に向けた石狩川水系千歳川等の特定都市河川への指定

別紙

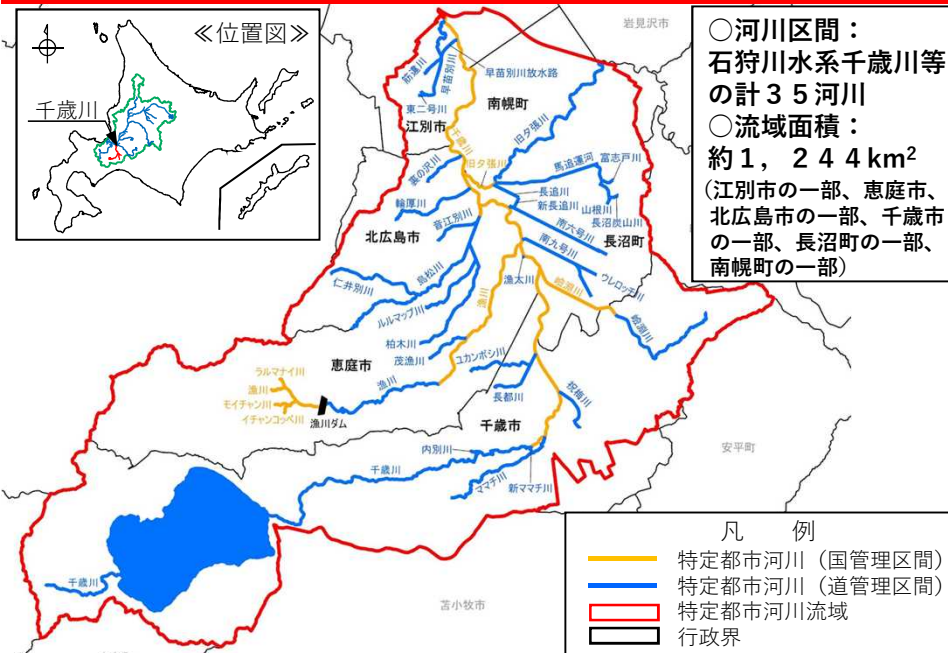
## 千歳川流域の治水上の課題

- 千歳川流域は、広大な低平地が広がっているため、洪水時に石狩川の高い水位の影響を約40kmにわたり長時間受けるという治水上の課題を有しています。
- 千歳川の水位が高いため、宅地や農地等に降った雨水は川に流れ込むことができないといった、地形的特性・洪水特性により内水による浸水被害の防止が困難な流域です。



明治31年から平成28年までの119年間で洪水被害が70年あり、実に2年に1回以上の頻度で被災している流域

河道等の整備のみでは早期の浸水被害解消が困難であり、特定都市河川の指定により「流域治水」を本格的に実践



## 近年の水害、気候変動による激甚化・頻発化を踏まえた「流域治水」の取組強化

- R3.3 石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト策定・公表
- R3.11 改正特定都市河川浸水被害対策法の施行(特定都市河川を全国の河川に拡大)
- R5.3 特定都市河川指定に向けて検討開始(石狩川(下流)水系流域治水協議会で意見交換)
- R5.5 北海道千歳川水系治水連絡協議会において特定都市河川及び流域の指定について合意



合意文書の手交

## 法的枠組み(特定都市河川制度)を活用した「流域治水」の本格的実践

特定都市河川に指定することにより、河川整備の加速化に加え、流域における雨水流出抑制対策等を法的枠組みのもと推進し、**早期に千歳川流域における水害への安全性の向上**を図ります。

### 河川整備の加速化

#### 堤防整備・河道掘削等の加速化(外水・内水対策)

- ◆ 堤防整備・河道掘削等の外水対策の加速化による堤防決壊等による壊滅的な被害の軽減を図る。
- ◆ 流域の各地で頻発する内水氾濫に対して、排水ポンプ車等により円滑かつ迅速に内水排除を行うため、**必要な進入路、作業ヤードを確保するとともに釜場を整備**する。また、河川整備の進捗に応じた**排水機場の排水規制の緩和**等により内水被害の軽減を図る。

### 流域における雨水流出抑制対策

#### 雨水浸透阻害行為の許可制度

- ◆ 開発行為に伴う雨水の流出増により水害リスクが高まることのないよう、**公共・民間による1,000m<sup>2</sup>以上の開発について、知事の許可及び貯留・浸透対策の義務付け**。

#### 貯留機能保全区域の指定

- ◆ 流域における浸水の拡大を抑制する観点から、**洪水や雨水を一時的に貯留する機能を有する土地について、将来にわたって保全**するため指定を行う。



堤防整備



釜場整備



排水機場の排水規制緩和

※具体的な対策内容については、今後の調査、検討等により変更となる場合があります。